

個別最適な学び研究部会 授業実践

令和4年10月26日 3年2組 授業者：福島 瑚

教科：算数 単元名：わり算や分数を考えよう 本時：1 / 8

単元の目標：円や球を構成する要素や性質について理解し、コンパスを用いた作図や長さをはかり取ったり移したりすることができるようにするとともに、数学的表現を適切に活用して構成の仕方や身の回りのものを円や球として考える力を養い、図形をかいたり確かめたりする活動を振り返り、今後の生活や学習に活用しようとしている。

1 部会の目標

相手の考えを尊重し、互いに受け入れたり、比べたりしながら、主体的に課題解決に取り組める児童を育てる。

2 本時の学習について

(1) 児童の実態

○自分の考えをノートにまとめたり、計算問題を解いたりするなど、授業内の活動に進んで取り組むことができる。

(2) 目指す児童の姿

○友達と話し合いながら、全員が平等に参加できる玉入れゲームのルールを考えている。

○友達と考えを比較しながら話し合うことができる。

(3) これまでの取組

○Jamboard で学習における自分の考えを発表する。(算数)

○Jamboard によるグループでの意見共有と話し合いを行う。(道徳)

3 授業における手立て

○ロイロノートでグループ毎に共有ノートを活用して考えをまとめる。



4 成果○と課題●

○Jamboard で考えを共有し、話し合うことで、円の中心から線までの長さが全て同じことに気が付いた。

●導入の玉入れゲームは、動画で見せた方が動きを確認しやすい。

●子供が考えをまとめやすいように、かごのイラストなどを用意すると良い。